

2-B-6.

家電製品の宇都宮→福岡市間及び宇都宮

→広島間トラック輸送の、JR5トンコンテナ輸送への切替え

＜(株)日立物流＞

1. 概 要

シフトした輸送機関	トラック ⇒ 鉄道
輸送ルート	栃木県宇都宮市 → 福岡県福岡市 → 広島県広島市
主な対象貨物	家電製品
導入時期	2004 年 4 月
月間取扱貨物量	400トン／月
荷姿	段ボール箱
出荷頻度	ほぼ毎日

2. 背景（実施理由、狙い、導入の経緯）

1) 実施理由

- ・ 環境問題への対応

2) 狙い

- ・ 従来から JR への切替えは検討していたが、両端のトラック輸送コスト削減が課題であった。
- ・ 今回 40ft 海コントレーラを利用したコスト削減等により実現した。

3) 導入の経緯

- ・ 40ft 海コンドレージ用トレーラに 5t コンテナ 3 基を積載できる「フラットラック」（簡単に脱着可能）を利用し、物流センター←→JR貨物駅間のトラック輸送コストを削減できる見通しがつき、実現した。
- ・ 栃木→福岡間及び栃木→広島間には毎日 10tトラック各1輦が運行されていたが、これを各々JR5tコンテナ×3基に切替え、当該区間のトラック運行を全廃した。

3. 対策効果

項 目	対 策 効 果 (実施前を 100 とした場合の実施後の数値: 実施後／実施前×100)
トラック使用台数の対策効果	100%
トラック台キロの対策効果	95%
燃料使用量(又はCO2 排出量)の対策効果	95% (67トン／月)

4. 事業内容

